別表第十九（第二条第十六号関係）

項番	共通項目	表示形式	注意事項
1	本人氏名型	（日本人）氏＋△＋名＋△ （外国人）英字氏名＋△＋漢字氏名（一部に仮名を使用するものを含む。）	・（外国人）氏名のフリガナが標準オプション機能とされている場合、「＋△（フリガナ氏名）」とすること ・旧氏又は通称の氏名併記が標準オプション機能とされている場合、「＋△（旧氏又は通称）」とすること ・（外国人）氏名のフリガナは、本人確認実施済みの場合のみ括弧を含めカタカナを記載すること ・（外国人）漢字氏名（一部に仮名を使用するものを含む。）は英字氏名と区別がつくように、間に全角スペースをいれること ・（外国人）英数字は全角で桁あふれが生じる場合は必要に応じて半角とし、半角とした場合の桁数は2桁で全角１桁として読み替え、桁数最大値の規定に適用させること ・（日本人）項目内容の一部に空欄となる部分がある場合は、「【氏空欄】」又は「【名空欄】」と記載すること
2	旧氏・通称型	旧氏 通称＋△＋（通称のフリガナ）	・（日本人）請求された旧氏を記載すること ・（外国人）通称のフリガナは、本人確認実施済みの場合のみ括弧を含め記載すること
3	住所型	都道府県＋市区郡町村名＋町字＋番地号+番地号枝番＋△＋方書	方書は番地号枝番との区別がつくように間に全角スペースを入れること
4	本籍型	都道府県名＋市区町村名＋町字＋地番	・住所型との違いは方書の有無及び丁目の漢数字表記 ・郡がある場合は郡名を含む（Ｊ－ＬＩＳ住所辞書には入っているため） ・データ要件の内容に応じて変更となる可能性あり
5	日付型	（和暦）元号9年9月9日 （西暦）1999年9月9日	・（和暦）元年は「1年」とせず、「元年」とすること。 ・（共通）年月日は全角数字とし、1桁の場合前に空白を設けないこと。 ・（共通）不詳日の場合は、不詳日である旨を記載すること。
6	宛名氏名型	氏名＋△様	・（外国人）通称、漢字氏名（一部に仮名を使用するものを含む。）、英字氏名の順に登録があるものを優先して氏名とする ・（外国人）英数字は全角で桁あふれが生じる場合は必要に応じて半角とし、半角とした場合の桁数は2桁で全角１桁として読み替え、桁数最大値の規定に適用させること
7	宛名住所型	都道府県＋市区郡町村名＋町字＋番地号+番地号枝番＋△＋方書＋△＋宛名補記	宛名補記は郵便物が確実に届くように補記する情報 例）〇〇様方
8	自治体名型	都道府県名＋市区町村名 →最大で13文字 例）和歌山県東牟婁郡那智勝浦町	・指定都市においては都道府県名を省略することも可能とする。 ※別表第一の中分類5.6 公印・職名の印字の通り ・郡がある場合は郡名を含めること。
9	振り仮名型	（日本人）公証された氏の振り仮名＋△＋公証された名の振り仮名 （日本人）公証された旧氏の振り仮名 （外国人）＊＊＊＊＊＊	・（日本人）氏名及び氏又は名のみの振り仮名が公証されている場合、カタカナにより公証された氏又は名の振り仮名を記載すること ・（日本人）氏又は名のいずれかが公証されていない場合、「【〇空欄】」と記載すること ・（日本人）氏名ともに公証されていない場合、項目内容に「＊＊＊＊＊＊」と記載すること ・（外国人）項目内容に「＊＊＊＊＊＊」と記載すること ・（日本人）旧氏の振り仮名が公証されている場合、カタカナにより旧氏の振り仮名を記載すること